

令和 4（2022）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

ブロック：西海ブロック

コショウダイ

海域	九州北・西	参加機関	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、福岡県水産海洋技術センター、佐賀県玄海水産振興センター、熊本県水産研究センター
----	-------	------	---

(1) 調査の概要

- ・水産資源研は調査指針および状況報告書を取りまとめ、生物情報を収集した
- ・福岡県、佐賀県および熊本県は、生物情報収集調査を担当した

(2) データ収集状況

- ・福岡県は、代表港における2011～2021年、佐賀県は、代表市場における2014～2021年、熊本県は、代表漁協における2012～2021年の漁獲データを収集した
- ・福岡県、佐賀県は代表港および代表市場における2021年の月別漁獲データを収集した
- ・熊本県は、代表漁協および支所の2012～2021年の月別漁獲データを収集した
- ・熊本県は、牛深に水揚げされたコショウダイ8個体について体長などの測定を行った
- ・福岡県は、代表漁港に水揚げされたコショウダイ2個体について精密測定を行い、漁獲物の（年齢？体長？）組成を把握した

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：我が国では本州以南に見られる。また黄海、東シナ海、南シナ海からアラビア海に分布する（山田ほか 2007）
- (2) 年齢・成長：山口県周防灘での最大全長は 80 cm を超える（山田ほか 2007）
- (3) 成熟・産卵：山口県周防灘での本種の産卵期は 5 月下旬～7 月下旬と推察されている（小林・岩本 1984）
- (4) 被捕食関係：エビ類、カニ類、アミ類、ヨコエビ類、魚類を捕食する（山田ほか 2007）

(4) 備考

- ・他海域も含めて、生物学的特性に関する情報がほとんどない
- ・イサキ科魚類には 4 属 18 種があるとされており、魚市場や漁協の漁獲データがコショウダイを正確に分類できているか不明
- ・資源評価調査報告書は令和 5 年度に作成予定

引用文献

山田梅芳・時村宗春・堀川博史・中坊徹次 (2007) 「東シナ海・黄海の魚類誌」．東海大

学 出版会, 東京, 1262 pp.

小林知吉・岩本哲二 (1984) コシヨウダイの初期生活史. 魚類学雑誌, **30**, 412-418.